

2008年3月22日(土)  
12時00分～13時00分

国立京都国際会館  
RoomD

座長

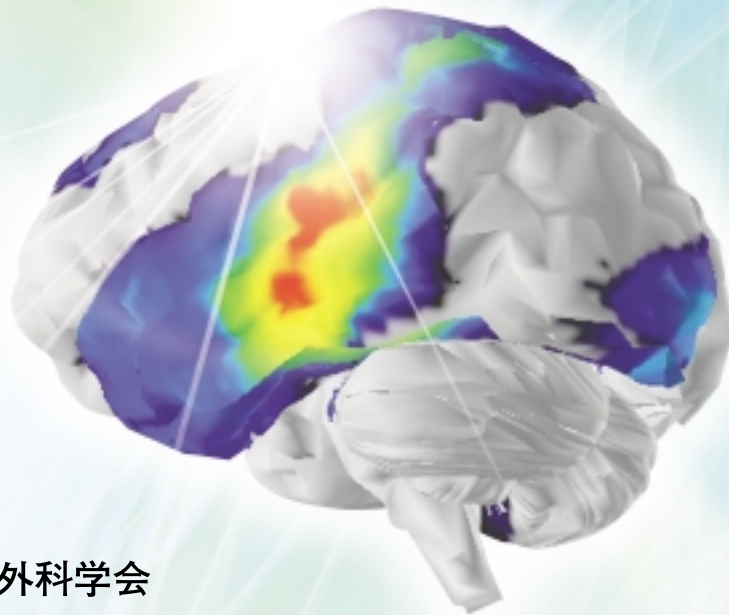
中川原 讓二 先生

医療法人医仁会 中村記念病院 脳神経外科 診療本部長

演者

藤村 幹 先生

東北大学大学院医学系研究科 神経・感覚器病態学講座  
神経外科学分野 助教



第37回日本脳卒中の外科学会  
ランチョンセミナー

# 脳血流SPECTによる 頭蓋外内血行再建術後の 脳循環動態評価の有用性について

【共催】 第37回日本脳卒中の外科学会  
日本脳神経核医学研究会  
日本メジフィジックス株式会社

 nihon  
medi+physics

# 脳血流SPECTによる 頭蓋外内血行再建術後の 脳循環動態評価の有用性について

JET studyの結果、脳主幹動脈のアテローム血栓性脳梗塞の二次予防として、頭蓋外内血行再建術が役立つsubgroupが存在することが明確となった。また、同時にこの研究は、術前の脳血流SPECTを用いて定義される血行力学的脳虚血Stage IIが手術適応決定のためのsurrogate markerとなることを始めて明らかにし、脳血流SPECTの臨床的有用性が確立された。本講演では、脳血流SPECTによる頭蓋外内血行再建術後の脳循環動態評価が、過灌流症候群などの血行再建術後の再灌流に伴う病態診断についても大いに役立つことが提示される。頭蓋外内血行再建術に携わる脳神経外科医にとって、本治療の安全性と有効性の評価は不可避であり、脳血流SPECTの役割を再認識することが重要と考えられる。

## 中川原 譲二

[医療法人医仁会 中村記念病院 脳神経外科 診療本部長]

### About JCNN

## 日本脳神経核医学研究会について

日本脳神経核医学研究会は、脳核医学に関する基礎および臨床研究の推進とその普及をはかり、それを通じて我が国の学術文化の発展に寄与し、国民の保健と福祉の向上に資すると共に、国際協力につとめることを目的としています。

脳核医学の発展には、放射線科や核医学科において検査を実施する医師や技師に加えて、脳神経外科、神経内科、精神科などで実際の診療に携わる臨床医、装置や医薬品の開発を行う物理工学、薬学、化学などの基礎研究者の協力が不可欠です。本研究会は、これらの学際的な領域の医療関係者や研究者を対象に、セミナーや講演会などを開催して、脳核医学の幅広い普及をめざします。また、脳核医学に関する多くの課題について議論する場を設定して、検査法の確立、臨床使用のためのガイドラインの作成、国際的な枠組みの中で情報交換などを行っていきます。

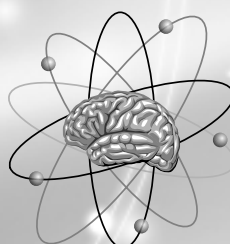
研究会の会員相互の情報交換には、インターネットを活用して幅広く情報を提供していきたいと考えています。本研究会が主催、共催する行事や関連研究会の案内もホームページでご覧いただけます。会員が情報を共有するとともに、外部に向けて発信できる新しいタイプの研究会を指向して活動を行っていききたいと考えています。この趣旨にご賛同いただき、脳核医学の発展のために、是非本研究会にご参加下さい。

詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www2.convention.co.jp/jcnn/>

### 日本脳神経核医学研究会事務局

〒100-0013 千代田区霞が関1-4-2 大同生命霞ヶ関ビル18F  
日本コンベンションサービス株式会社内  
E-mail: infojcnn@convention.co.jp  
Tel: 03-3508-1214 Fax: 03-3508-1302



JCNN